

6京医大第392号

平成26年8月1日

関係大学長
関係研究機関等の長様

京都府立医科大学長

吉川 敏一

(公印省略)

がん医療に係る新規教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学大学院医学研究科では、がん医療に係る人材養成を推進するため、関係する下記の教室に新たな教授4名を公募、選考することになりました。

つきましてはご多用中恐縮に存じますが、貴施設におきまして適任者がございましたら、別添によりご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1 目的

京都府内のがん医療提供体制の充実強化を図るため、がん医療人材の養成等に取り組むこととし、その推進のため新たに教授を配置する。

2 公募する新規教授（科目名等）

- (1) 呼吸器内科学（医学部内科学教室呼吸器内科学部門）
- (2) 内分泌・乳腺外科学（医学部外科学教室内分泌・乳腺外科学部門）
- (3) 呼吸器外科学（医学部外科学教室呼吸器外科学部門）
- (4) 疼痛・緩和医療学（医学部疼痛・緩和医療学講座）

京都府立医科大学大学院医学研究科
新規教授の公募について

- 1 科目名（教室名）
呼吸器外科学（医学部医学科外科学教室呼吸器外科学部門）
- 2 応募期限 平成26年9月8日（月曜日・必着）
- 3 必要書類
 - (1) 履歴書 1部（別紙様式1）
 - (2) 業績目録 1部（別紙様式2）
 - (3) 論文別刷（業績目録に記載された代表的な論文10編。コピー可。 各1部（後日返却）
 - (4) 「診療におけるこれまでの経緯及び今後の計画」 2000字程度
 - (5) 過去3年間の手術実績 1部（別紙様式3）
 - (6) 「教育及び研究における過去の経歴及び将来の抱負」 2000字程度
 - (7) 推薦書（所属長、指導教授などの2名） 各1部
 - (8) (1)、(2)、(4)、(5)及び(6)については、下記規定に従って記録したUSBフラッシュメモリーも添付してください。

ご提出していただいた書類等の個人情報につきましては、本学大学院医学研究科呼吸器外科学教授選考の目的以外には使用しませんが、本学内の教授会等で公開されることをご承知おき下さい。

4 その他

選考の過程で面接及びセミナーにお越しいただくことがあります。
ただし、その場合の旅費等は自己負担となります。

問い合わせ先：〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
京都府立医科大学総務課総務担当 電話 075-251-5210
e-mail: soumu@koto.kpu-m.ac.jp

[規 定]

紙サイズ A4 サイズ

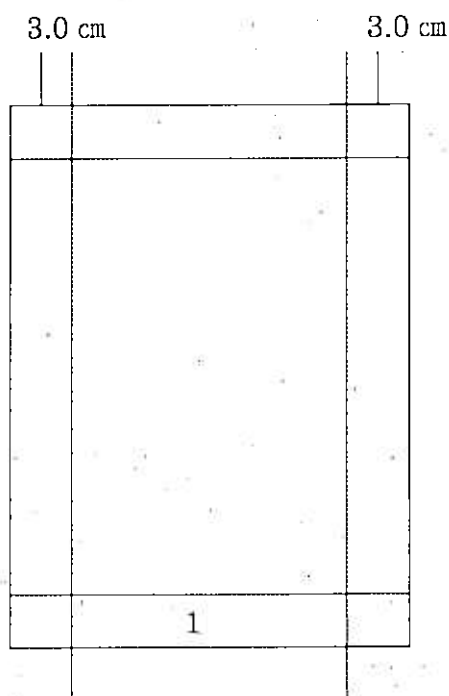
ソフトは Microsoft Word (Windows, Macintosh 共に可)

文字のフォントは明朝体、12 ポイント、数字及び英語は半角

行間はシングルスペース、1 行あたり文字数 35 字、33 行

上下、左右共にスペースは 3.0 cm

項目 (1), (2), (4), (5) 及び(6)ごとに頁番号をつける (下部中央印字)



※提出先：〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

京都府立医科大学長 宛

※応募者の連絡先（電話と E メールアドレス）を履歴書とは別にご提出下さい。

※封筒に「呼吸器外科学教授応募書類在中」と朱書きしてください。

別紙様式 1

履 歴 書

医 大 太 郎

昭和〇年〇月〇日生 (〇歳)

現住所 〇〇県△△市

昭和〇〇年(19xx年) 3月31日 〇〇大学医学部卒業
昭和〇〇年(19xx年) 5月16日 〇〇医科大学附属病院研修医、〇〇科勤務
昭和〇〇年(19xx年) 5月20日 医師免許証取得(第〇〇〇〇号登録)
昭和〇〇年(19xx年) 4月1日 〇〇大学大学院医学研究科博士課程入学
昭和〇〇年(19xx年) 3月23日 医学博士.(〇〇大学 第〇〇号)
昭和〇〇年(19xx年) 3月31日 〇〇大学大学院医学研究科博士課程修了
昭和〇〇年(19xx年) 4月1日 〇〇大学医学部助手、〇〇科学教室勤務
平成〇〇年(19xx年) 9月1日 〇〇大学医学部講師、〇〇科学教室勤務
平成〇〇年(19xx年) 4月1日 アメリカ合衆国〇〇大学へ留学
(〇〇大学医学部〇〇科 Visiting Professor)
平成〇〇年(20xx年) 8月31日 帰国
平成〇〇年(20xx年) 9月1日 〇〇大学医学部准教授、〇〇科学教室勤務
現在に至る

昭和〇〇年(19xx年)4月1日 ~ 昭和〇〇年 3月31日 〇〇大学非常勤講師
平成〇〇年(19xx年)4月1日 ~ 平成〇〇年 3月31日 〇〇大学客員講師

学会役員等 日本〇〇学会理事
日本〇〇学会評議員
日本〇〇研究会運営委員会委員

学会の認定医，専門医，指導医等
日本〇〇学会専門医（第〇〇〇号）

学術活動・社会貢献等
〇〇誌の編集委員

知的財産（これまでに出席した特許等）目録

1. 発明等の名称；新規な xxxx・およびその用途
出願番号；特願 20xx-xxxxxxx :平成〇〇年〇月
発明者；〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
2. 発明等の名称；〇〇病発症またはリスクの〇〇的検出方法
出願番号；特願 20xx-xxxxxxx・PCT/JPxx/xxxxx :平成〇〇年〇月
発明者；〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

大学など機関内の委員会、小委員会、審査会等への貢献実績

1. 〇〇大学医学倫理審査委員会ゲノム小委員会委員 平成〇～〇年度
2. 〇〇大学医学部放射線障害予防委員会委員 平成〇～〇年度

賞罰 昭和〇〇年 日本〇〇学会奨励賞

研究助成（これまでに受けた文部科学省科学研究費，厚生労働省科学研究費等，
助成金額等）

総額 〇〇万円

公的助成

代表（総額）・小計〇〇万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A） 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇万円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金〇〇〇〇〇事業 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇万円

分担・小計〇〇万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A） 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇万円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金〇〇〇〇〇事業 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇万円

※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

財団等からの助成

代表（総額）・小計〇〇万円

- 1 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇万円
- 2 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇万円

分担・小計〇〇万円

- 1 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇万円
- 2 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇万円

※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

業 績 目 録

いだい たろう
医大 太郎

(A-a) 英文著書

*個人著書の場合

- 1 Idai T. Sports injuries and their treatment. 2nd rev. ed. ○○○○
○○ (注 出版社名), London (注 出版社の所在都市名) : pp1-394,
2005.

*分担執筆の場合

- 2 Idai H, Idai T. Pathologic properties of invading microorganisms.
In: Idai J, Kyoto A, editors. ○○○○○ (注 出版社名),
Philadelphia (注 出版社の所在都市名) : pp457-466, 2005.

(A-b) 和文著書

*個人著書の場合

- 1 医大太郎. 遺伝子と日常の病気. 第2版 医学○○, 東京:pp1-326, 2006.

*分担執筆の場合

- 2 医大花子, 医大太郎. ヒト染色体における多型. 染色体異常アトラス.
医大二郎 編. 南○堂, 東京 : pp95-98, 2007.

(B-a) 英文総説

- 1 Idai T. Molecular origins of cancer : cancer immunology. New Engl
J Med 358: 2704-2715, 2008. (IF=53.298)

(B-b) 和文総説

- 1 医大太郎. レーザー顕微鏡. ○○と臨床 12 : 997-1002, 2007.

(C-a) 英文原著

- 1 Idai T, Idai J, Idai H, Kyoto A, Kamogawa R, Kamogawa H. Hemizygous expression of the wild-type p53 allele may confer as elective growth advantage before complete inactivation of the p53 gene in the progression of chronic myelogenous leukemia. Brit J Haematol (注 Index Medicus の略名法による) 90: 147-155, 2004. (IF= 4.941)

(C-b) 和文原著

- 1 医大太郎, 医大花子, 医大二郎 . インフルエンザウィルス感染における肥満細胞の関与. 医学の〇〇 (注 医学中央雑誌の略名法による) 174: 227-235, 2007.

(D) 学会発表

学会発表は、国内外の学会における特別講演・教育講演等、シンポジウム・ワークショップ・パネルディスカッション等の発表、及び国際学会における一般発表のみ記載してください。

記載の方法は前記に準じ、題名、発表学会名、開催地を発表年の順に記載してください。

I) 特別講演、教育講演等

- 1 Idai T. Molecular structure of protein kinase activated by interferon. Plenary lecture. 2006 Annual Meeting of Int Soc for Interferon Res. 2006 Nov 11; 〇〇〇〇〇, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .
- 2 医大太郎, 医大二郎, 京都花子. 教育講演 生活習慣病と〇〇〇〇の関係性の分析. 第15回日本健康〇〇学会総会, 2006, 京都.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Idai T. Estimation of strength during fracture healing based on acoustic emission properties. Symposium; Bone trauma and fracture repair. 2nd World Congress of Biomechanics. 2005 Jul 14; 〇〇〇〇〇, Netherlands (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略).

Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Idai T. Comparing radon daughter dosimetric and risk models. Seventh Life Science Symposium. 2005 Oct 29-31; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .

履歴書・業績目録記入上の注意について

業績目録は、別紙様式2のとおり (A-a) 英文著書、(A-b) 和文著書、(B-a) 英文総説、(B-b) 和文総説、(C-a) 英文原著、(C-b) 和文原著及び、(D) 学会発表に分類し、それぞれ年代順に列挙し別葉としてください。

- (1) 履歴書の年号は元号と西暦を併記してください。
- (2) 代表的な論文10編の番号の前には○印を付けてください。
なお、代表的な論文10編については、それぞれ簡潔に要旨、意義を記したものの(200字程度)を別に添付して下さい。
- (3) 共著、共同発表の場合は、本人の氏名を含め全員の氏名を原典に記載された順に記し、本人氏名にアンダーラインを引いてください。筆頭者とほぼ同等に貢献したことが記載されている論文においては、本人氏名の右肩に* 印を、corresponding author の場合は本人氏名の右肩に* * 印を付記してください。なお、筆頭者とほぼ同等に貢献した論文あるいは corresponding author である論文においては、これらのことが記載されているページのコピーも提出して下さい(代表論文として提出する論文におきましては、重複して提出して頂く必要はありません)。
例1) 医大太郎, 医大花子, 医大二郎. 論文名. 雑誌名
1X: 99X-10XX, 20XX.
例2) 医大花子, 医大太郎*, 医大二郎. 論文名. 雑誌名
1X: 99X-10XX, 20XX.
例3) 医大二郎, 医大太郎** , 医大花子. 論文名. 雑誌名
1X: 99X-10XX, 20XX.
- (4) 英文総説と英文原著論文については、各論文ごとに Impact Factor (2013年版) を記載してください。
- (5) 雑誌名が変更となっている場合はその記載の末尾に詳細を明記してください。
- (6) 掲載予定のものについては、それを証明する書類を添付してください。
- (7) 氏名を英語で表記する場合は、下記例のように統一して記載してください。(例) 医大太郎→「Idai T」
- (8) 学位申請論文については、題名の後に(学位論文)と記載してください。

手術症例の記録の書き方について

手術症例の記録は、別紙様式3<記入例>のとおり記載してください。

- 1) 2011年8月ー2014年7月に手術された症例を、悪性腫瘍とその他に分けて、年月日順に症例番号・年齢・診断名・手術々式・執刀等（執刀症例には Operator の O を、指導症例には Supervisor の S を記入、手術症例は執刀、あるいは清潔で直接手術に加わって指導された症例に限る。）・施設名・手術年月日を記載してください。
- 2) 1) で記入した手術術式のうち、主要な術式の症例数を表にして別紙にまとめてください。また、自分の手術につきアピールできる点を800字以内で記述してください。
- 3) 後日、各症例の手術記録を提出していただく場合がありますので、御了承願います。

別紙様式3<記入例>

手術症例の記録 (2011年8月-2014年7月) (全身麻酔症例に限る。生検は除く。)

いだい たいろう
医大 太郎

1) 手術症例

I 悪性腫瘍

症例番号	年齢	診断名	手術々式	執刀・指導等	施設	手術年月日
1	67歳	○○○○○○	○○○○○○○○	O	○○大学病院	2011.9.1
2	72歳	○○○○○○	○○○○○○○○	S	○○○病院	2012.9.2
3	54歳	○○○○○○	○○○○○○○○	S	○○○病院	2013.9.3

II その他

症例番号	年齢	診断名	手術々式	執刀・指導等	施設	手術年月日
1	67歳	○○○○○○	○○○○○○○○	O	○○大学病院	2011.9.1
2	72歳	○○○○○○	○○○○○○○○	S	○○○病院	2012.9.2
3	54歳	○○○○○○	○○○○○○○○	S	○○○病院	2013.9.3